作成日 2000 年 3 月 18 日
改訂日 2024 年 2 月 25 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称：	ＢＪ２０００
製品コード：	BJ2000
会社名：	株式会社ビアンコジャパン
住所：	京都市南区吉祥院長田町 47 番地
担当部門：	営業企画
電話番号：	075-693-5531（代表）
緊急時の電話番号：	075-693-5531（代表）
ＦＡＸ番号：	075-693-5522
メールアドレス：	bianco@bianco jp. co. jp
推奨用途及び使用上の制限：	洗浄剤

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

健康に対する有害性：	皮膚腐食性/刺激性	区分 3
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A

物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない」又は「分類できない」である。

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報：
軽度の皮膚刺激
強い眼刺激

注意書き：
【安全対策】
取扱い後は、よく手を洗うこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
【応急処置】
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
眼に入った場合：水で 15 分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察、手当を受けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察、手当を受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
【保管】
日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量

成分名	ＣＡＳ No.	含有量(wt%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
① イソプロピルアルコール	67-63-0	5.0%	2-207
② ブチルカルビトール	112-34-5	5.0%	2-422
③ ポリ=ノニルフェニルエーテル	9016-45-9	4.5%	-
④ ポリ=オクチルフェニルエーテル	9036-19-5	4.5%	-
⑤ ジエチレングリコール	111-46-6	3.0%	2-415
⑥ ピロリン酸カリウム	7320-34-5	2.0%	1-452
⑦ パークロルエチレン	127-18-4	0.1%未満	2-114
⑧ 水	-	残分（約 76%）	-

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
直ちに、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせ、皮膚を多量の水で洗う。
直ちに、医師の診断、手当てを受ける。
着衣を利用する場合は洗濯してから用いる。

眼に入った場合： 直ちに、流水で 15 分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
まぶたを親指と人差し指で拡げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水が良く行き渡るように洗浄する。
直ちに、医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合： ミルクなどを飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。
直ちに、医師の診断、手当てを受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状： 吸入した場合、咽頭の粘膜の炎症と痛み、咳、吐き気。
皮膚に触れた場合、皮膚の炎症と痛み。
目に入った場合、炎症と痛み。
経口摂取すると口腔、喉などに灼熱感があり、食道、消化器等の粘膜を侵すことがある。

医師に対する特別注意事項： 経口摂取、腹腔内投与により中程度の毒性を示す。
この物質は眼、皮膚、粘膜を刺激する。
接触や吸入の効果は遅れて現れるおそれがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤： 棒状注水、水噴霧

特定危険有害性： 火災によって刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
激しく加熱すると燃焼する。

特定の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も、大量の水を用いて充分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項､保護具及び緊急時措置：	作業者は適切な保護具（『８．ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガス、フュームの吸入を避ける。直ちに、漏出した場所の周辺に適切な距離を置きロープを張るなどして、漏洩区画として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 適切な保護衣を着けていないときは、破損した容器や漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 風上に留まる。 低地から離れる。
環境に対する注意事項：	流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材：	付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。 (少量)漏えいした液は乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて取り除くか、漏洩物を密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。(多量)大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。 直接中和剤を散布すると 発熱し、酸が飛散することがある。
二次災害の防止策：	すべての発火源や可燃性物質を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 近傍での火災に備えて、適切な消火器を準備しておく。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策：	「8.曝露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取り扱い注意事項：	使用前に使用説明書を入手すること。すべての安全注意事項を読み理解するまで取り扱わないこと。 空気中の濃度を暴露限度以下に保つ為に排気用の換気を行うこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は、手、顔などをよく洗うこと。 取扱いは、換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。 保護具や器具類などは耐食性のものを用いる。 適切な保護具を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れたりしないようにする。
接触回避：	『１０．安定性及び反応性』を参照。

保管

安全な保管条件：	直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い涼しい所で保管すること。 可燃性物質、強酸から離して保管する。
安全な容器包装材料：	国連輸送法規で規定されている容器を使用する。 国連容器包装等級Ⅲ

08. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：	日本産衛学会　２０２１年版　　設定されていない ＡＣＧＩＨ　２０２１年版　　設定されていない
設備対策：	装置や薬品の移送に用いるホースなどは耐食性や耐久性のあるものを用いる。 高熱取り扱いで、工程でガスが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つ為に換気装置を設置する。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具：	保護マスク等、必要に応じて適切な呼吸器保護具を使用すること。
手の保護具：	不浸透性保護手袋。（ネオプレン、ブチルゴム製が推奨される。）
眼及び/又は顔面の保護具：	適保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）顔面シールド。

皮膚及び身体の保護具：	長袖作業衣を着用する。
衛生対策：	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

09. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：	無色～薄黄色の液体
臭い：	わずかに溶剤臭
ｐＨ：	9.0±0.5
融点：	データなし
凝固点：	データなし
沸点：	約100℃
引火点	データなし
可燃性：	データなし
爆発範囲：：	データなし
蒸気圧：	データなし
相対ガス密度（空気＝1）：	データなし
密度又は相対密度：	1.00（20℃）
溶解度：：	水と混和する
オクタノール/水分配係数	データなし
発火点：	データなし
分解温度：	データなし
粘度：	データなし
動粘度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性(反応性・化学的安定性)：	通常の取り扱いでは安定。 強い反応性は無い。
危険有害反応可能性：	情報なし
避けるべき条件：	情報なし
混触危険物質：	酸性物質
危険有害な分解生成物：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性：	経口　分類できない。 経皮　分類できない。 吸入（蒸気）　分類できない。 吸入（ミスト）分類できない。
皮膚腐食性/刺激性：	軽度の刺激作用があることから区分３とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	強い刺激作用があることから区分2Aとした。
呼吸器感作性または皮膚感作性：	分類できない。
生殖細胞変異原生：	分類できない。
発がん性：	分類できない。
生殖毒性：	分類できない。
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：	分類できない。
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：	分類できない。
誤えん有害性：	分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有毒性　短期(急性)：	データなし
水生環境有毒性　長期(慢性)：	データなし
残留性/分解性：	データなし
生物蓄積性：	データなし
土壌中の移動性：	データなし
オゾン層への有害性：：	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていないため区分に該当しないとした

13. 廃棄場の注意

残余廃棄物：	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装：	容器を清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	IMO の規定に従う。
航空規制情報	ICAO/IATA の規定に従う。
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
特別安産対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐蝕、洩れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）	界面活性剤に一部含有するが報告量以下である。	
労働安全衛生法：	① パークロロエチレン	法第 57 条　政令第 18 条第 19 号 政令第 18 条の 2 別表第 9 の 359
	② イソプロピルアルコール	法第 57 条　政令第 18 条第 2 号の 3 政令第 18 条の 2 別表第 9 の 494
	③ ブチルカルビトール	法第 57 条　施行令第 18 条別表第 9 法第 57 条の 2　施行令第 18 条の 2 別表第 9 法第 57 条の 3
消防法：	非危険物	
毒物及び劇物取締法：	非該当	
大気汚染防止法：	① パークロロエチレン	政令附則第 3 項第 3 号
水質汚濁防止法：	① パークロロエチレン	政令第 2 条第 10 号　　排出基準　0.1mg/L

16. その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧（増補版）	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物（総論編、無機編、有機編）	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM	
GHS 分類結果データベース	nite（独立行政法人　製品評価技術基盤機構）　HP
GHS モデル MSDS 情報	中央労働災害防止協会　安全衛生情報センター　HP

このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証も成すものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。その後、新たな情報や修正が加えられる場合もありますので、万一ご使用時期が大幅にずれ込んだり、ご懸念を抱かれた場合には、改めて弊社にご相談ください。また記載の注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は、状況に適した安全対策を実施の上、充分な注意を払う必要があります。すべての化学製品は『未知の危険性、有害性がある』と言う認識で扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。ご使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門的知識、経験のある方のみ、あるいはそれらの方々の、指導の下で取り扱うことを警告します。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるよう、お願い申し上げます。